

# これから先の地球のあんしん



NPO 法人くだかけ会代表  
和田重良  
1948年小田原市生まれ  
くだかけ生活舎での共同生活（人生科や農作業）をとおして、青少年や家庭の生活にさまざまなメッセージを送っている。

## 子どもたちのホームプラネット

「いいいてもいいんだよ」

子どもでもおとなでも、人間ならたいいていあんしんしてられる場所が欲しいものです。いや人間だけではありません。犬や鶏だって、あんしんして

られる場所は欲しいのです。

ところが時にはあんしんしていられたる場のない子どもたちもいるのです。追いつめられたり、圧力をかけられたり……たいいていの場合が教育やしつけないものとの間違いだったりするのです。

中には生活を奪われてしまう人もいます。子どもにとつてほんとうにあんしんできる所というのは「ここにもいいんだよ」と誰かが認めてくれる所です。もちろん言葉で言う必要はありません。言葉でなんか言われなくて「自分の居場所」にふさわしいかどうかなんてわかってしまうのですから。

トゲトゲしたり、余計なことばかり言つて干渉され過ぎたり、無闇に甘やかされて裏がありそうだったり、とにかくそんな所にはあんしんして居られません。

### ぬくもりの中で

かと言って、あんしんできる所というのは何も無いでいい所ではありません。気の向くまま（ワガママに）過ごしていったのでは人の心は満足がいかなないようにできているのです。

丁度、この地球に与えられている生命環境が、熱過ぎず、ほんのりと「ぬくもり」のようなものの中で生きていけるのに似ているのです。

熱が熱く100度にもなったらほとんどの生物は生きていけないし、マイナスの方も低過ぎては生きていけないでしょう。

人間の子どもの厳し過ぎたり甘過ぎたりしたら生きていけないのです。

熱過ぎず冷た過ぎない「ぬくもり」が手から伝わっていくような「あんしん」がいいのです。

それには無闇に競争や争いを煽るような「教育」をやめて、本来の補い合つて扶け合つて生きていくという事実の方に気づくような「心の教育」こそ大切なことなのですね。

### 「三つの鍵」と充足感

最近よくは、人の心の中には「いのちの満足」というものと「欲望の満足」と言う二種類の似たような満足が存在するのだと思つています。

これは、不登校やひきこもりの人たちのつき合の中からはヒントをいただいたのです。

子ども（人間……）は一体、どういう満足を求め

て生きているのだろうか？ という問いへの答えはなかなかハッキリしなかったのですが、一度このような「生活」がらみの悩みとか混乱などを招いていくと、何をもちつて満足することになるのかわからなくて出口や解決の糸口がみつからなくなっているのです。

子どもが小さい頃に欲しかったものは「いのちの満足」のほうだったのです。

たとえば、お母さんにちゃんと真正面に向けて受け入れてもらえるとか、きちんと最後まで話を聞いてもらえるとかで「いのちの満足」は得られます。また、例えば、「働く」とホッとするとか「勉強する」と充足する」ということも「いのちの満足」の方だと思つています。

○ケチな根性はいけない

○イヤなことはさげないで

○ヨイことはする (和田重正「三つの鍵」)

という「人生の宝庫をひらく、三つの鍵」がくだかけ生活舎の玄関にかけてあります。

これは他人を論ずための「鍵」ではありません。

自分の心の中に内在する充足感や満足感への語りかけという意味での「鍵」なのです。

### 「よかつたね」の愛言葉こそ「よく来たね」

子どもたちがあんしんしていられたる場としてのホームプラネットは、いつもほくらを「よかつたね」「よく来たね」と肯定して受け入れてくれます。

子どもは「なるほど」と認めてほしいのです。失敗も成功も、自発のものであれば親にはまずなるほどと頷いて欲しいものです。

「辛いのは 山のせいだと思つても

ひと山越えて知る自己矛盾」(茂吉)

子どもがどんなにヘタクソな人生をしようとも、自分で考え自分で味わうのなら、人生の山をひと山越えてみてやつと本当のことがわかつていけるのです。そんなことを支援して一緒に精進していくのが大人たちの役割です。教育の目的でもあります。

子どもたちのホームプラネットはどこへも落ちこまない揺るぎない「あんしん」を提供できるのです。

### 自然の風景

悠久

神社の前を通る

蟬が、松の大木で鳴いている

見上げると

細かい葉をとおして

白雲が

所在なく漂っている

そうだ、いつかこんなことがあつた三年前？十年も？いや五年も前かららまてまて、ちがう。

何億万年か昔に一度あつたことなのだ

松も蟬も白雲も自分も

みんなそのままだ

和田重正著

「山あり、花咲きて 父母いませり」より

